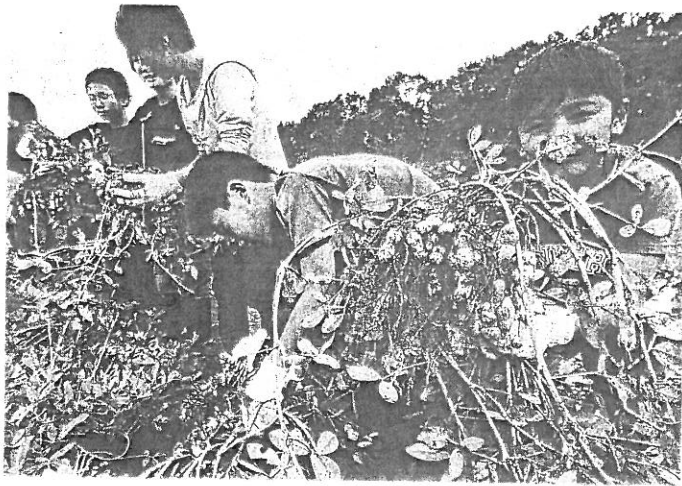


落花生 慎重に引き抜く

子どもたちが収穫体験



県やJAセレサ川崎などによる食育イベント「落花生掘りとこんにやく作り」が27日、川崎市麻生区の黒川東営農団地などで開かれた。写真。

昨年度から始まったNPOや大学などと地元JAの連携事業の一つで、学校になじみにくい児童や生徒が通う施設「フリースペースえん」（高津区）の子ども

ら約30人が参加。子どもたちはJA職員らの指導のもと、落花生を慎重に茎ごと引き抜いて、塩ゆでにして味わった。

施設を運営するNPO法人「フリースペースたまりば」の西野博之理事長は、「畑に出ると、子どもたちはすごく楽しそうで、とても生き生きしていた」と話していた。

食育 産 産 産

2011年(平成23年)9月28日(水曜日)

食材作る大変さ体験

フリースペース通う子ら

川崎市のフリースペースに通う子どもたちが落花生の

収穫やコンニャク作りなどを楽しむイベントが27日、



ぬるぬるしたコンニャクイモを慎重に切っていく＝川崎市麻生区

同市麻生区で開かれた。県とJAセレサ川崎、学校などに居場所を見つけたれない子どもを支援するNPO法人「フリースペースたまりば」の3者が連携したプロジェクト。この日は同法人が運営するフリースペースに通う子どもや若者、保護者など約30人が参加した。JAセレサ職員の指導を受けて挑戦したコンニャク作りで、生地を練り込む作業に挑戦した高野郁

己さん(15)は「筋肉痛になりそう。作るのが大変だとわかって、今後コンニャクを食べるときの思いが変わります」と笑顔で話した。「たまりば」の西野博之理事長は「フリースペースでは毎日みんなで昼食を作っている。普段何げなく使っている食材がどのようにできるのかを体験できたのは貴重。採れたて、できたてを食べて目が輝いていた」と話していた。

食育 産 産 産

2011年(平成23年)9月28日 水曜日